

—性質別歳出—

義務的経費 16億3,967万8千円 (49.7%)			投資的経費 6億9,801万9千円 (21.2%)	その他の経費 9億6,078万2千円 (29.1%)	
人件費 7億4,351万4千円	公債費 6億9,487万3千円	扶助費 2億129万1千円	普通建設事業 6億6,211万4千円	物件費 2億8,701万4千円	補助費等 3億3,005万5千円 繰出金 2億7,090万9千円 維持補修費 4,579万2千円 積立金 295万2千円 投資及び出資金 2,406万0千円

災害復旧事業  
3,590万5千円

今月号では、「財政状況の作成及び公表に関する法律」に基づき、平成13年度決算報告を紹介いたします。

地方財政状況調査によると本町の平成13年度普通会計の決算額は歳入34億2,045万8千円、歳出32億9,847万9千円となり平成12年度に比べて歳入が2億3,766万6千円、歳出が2億5,773万4千円のそれぞれ減少となりました。

長引く不況は国及び地方公共団体の財政を圧迫しています。特に歳入は、国や県から交付される「依存財源」のうち地方交付税交付金が前年度（平成12年度）に比べて5,796万8千円、国庫支出金が1億7,180万7千円の減少となっており、国・県の財政難がそのまま町にも影響していることがうかがえます。

町が自分で確保できる財源「自主財源」は18.2%しかなく、また町の借金である町債が歳入の10.7%を占めています。

一方目的別の歳出は、町の借金返済に充てられる公債費

が前年度より8,098万9千円増加し6億9,487万3千円と歳出の約21%を占めて最も多く、次に福祉事業・介護保険事業・国民年金事務費などに使用される民生費が5億7,124万6千円、以下土木費、総務費、農林水産業費の順となっています。

教育費は中津川小体育館建設工事の終了に伴い前年度に比べ約1億3,000万円の減少となっています。

一般会計から切り離して、その収入・支出を管理している特別会計は、医療費関係の老人保健医療会計が、前年度歳出額より減少し老人医療費が若干抑制されつつあります。国保会計はほぼ横ばいで推移しており、介護保険会計は介護サービス・支援サービスの増加で約7,700万円の歳出の増となっています。

簡易水道会計は水道管敷設替工事等のために約1億6,000万円増加しています。

町では、今後とも健全財政に努め、財源を有効利用し効果的な行政サービスができるよう努力していきます。

# 平成13年度 特別会計の決算

●国民健康保険会計（事業勘定）●

歳入	6億2,339万0千円
歳出	5億6,989万0千円
差引	5,350万0千円

●町立診療所会計●

歳入	1億8,944万6千円
歳出	1億7,167万6千円
差引	1,777万0千円

●簡易水道会計●

歳入	2億8,349万2千円
歳出	2億7,917万7千円
差引	431万5千円

●老人保健医療会計●

歳入	10億8,221万4千円
歳出	10億2,281万0千円
差引	5,940万4千円

～平成13年度末

町債（借入金）現在高～

借入先	借入額	比率
政府資金	41億1,427万8千円	87.5%
公営企業金融公庫	3億8,723万5千円	8.2%
銀行・農協	1億5,980万0千円	3.4%
その他	4,136万5千円	0.9%
合計	47億0,267万8千円	100.0%
町民1人当たり	101万4千円	

●介護保険会計●

歳入	4億9,620万6千円
歳出	4億8,365万7千円
差引	1,254万9千円